

Kansai Economic Insight Monthly

2013/11/25

Vol.7 October/November

・APIR “Kansai Economic Insight Monthly” は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・本レポートの内容は、公益社団法人関西経済連合会『関西経済レポート』と連携しています。

・レポート公開時期は毎月第二週金曜日を予定しています。

・執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 研究統括）、岡野光洋・林万平・劉洋（各 APIR 研究員）です。

・本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
景気の現況	2
中国景気モニター	7
主要月次統計	9
Release Calendar	10

要旨

- ✓ 9月の関西の鉱工業生産は、前月比-3.0%と3カ月ぶりの下落。
- ✓ 円安の持続を背景に、10月の関西の輸出額は8カ月連続で増加。一方、輸入も10カ月連続で増加し過去最高額を更新。結果、純輸出額は2カ月連続の赤字、赤字幅も2カ月連続の拡大。
- ✓ 10月の関西の消費者態度指数は3カ月ぶりに大幅の悪化。景気ウォッチャー現状判断DIも2カ月ぶりの悪化。
- ✓ 7月の関西の現金給与総額は前年比12カ月連続のマイナス。速報性のある関西コア賃金(8月)は4カ月連続のマイナス。
- ✓ 関西の9月の大型小売店販売額は、2カ月連続の前年比プラス。百貨店も2カ月連続のプラス。
- ✓ 9月の新設住宅着工戸数は2カ月ぶりに大幅増加した。持家は8カ月連続、貸家は同+49.6%と3カ月連続の上昇、分譲も2カ月ぶりに大幅上昇。
- ✓ 9月の関西の有効求人倍率は前月から低下したものの、依然底堅い。失業率は前月から改善となった。
- ✓ 関西10月の公共工事前払保証額は前年比6カ月連続のプラス。季節調整値では前月比2カ月ぶりのマイナス。公共工事は増減を繰り返しつつ推移している。
- ✓ 9月の建設工事(民間+公共)は前年比17カ月連続のプラス。全国的な公共工事の増加を受けて、建設工事の伸び率は引き続き増加している。
- ✓ 中国2013年7-9月期の実質GDP成長率は前年同期比+7.8%となり、4-6月期の同+7.5%と比べて幾分回復したが、8%を下回る成長率が7期続いている。
- ✓ 中国の輸出は10月に前年同月比+5.6%とプラスに転じた。対日輸入は依然前年比マイナスだが、減少幅は縮小している。

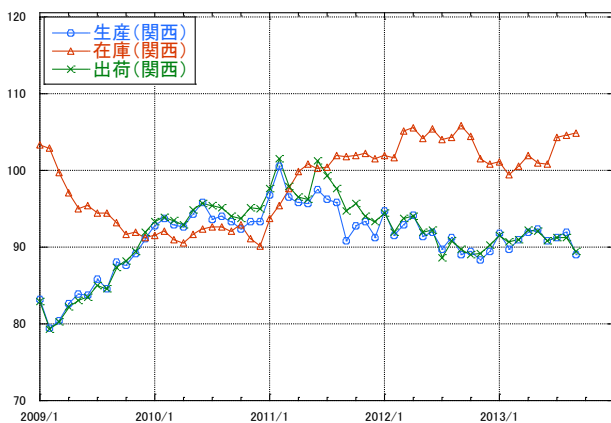
【鉱工業生産動向】

(1) 関西の生産動向

関西における9月の鉱工業生産指数(速報値:季節調整済)を見ると、生産は89.1で前月比-3.0%、出荷は89.5で同-2.0%といずれも3カ月ぶりの下落。在庫は104.9で同+0.3%と3カ月連続の上昇となっている。

業種別に生産指数をみると、一般機械(-10.5%)、輸送機械(除. 鋼船・鉄道車両) (-6.5%)、窯業・土石製品(-6.1%)等が低下した。一方、電気機械(+3.7%)、電子部品・デバイス(+4.3%)、化学(除. 医薬品) (+1.1%)等が上昇した。(下図: 業種別生産指数の推移を参照)。

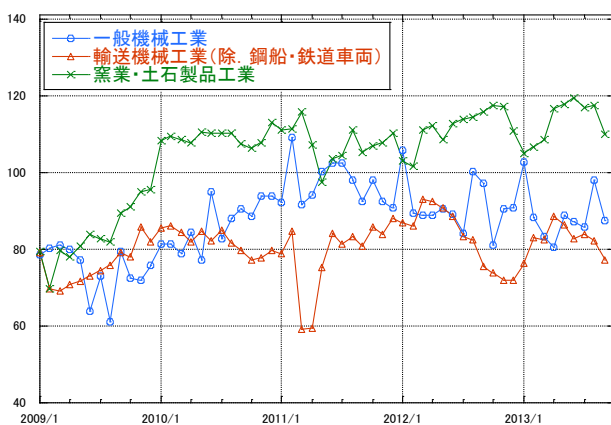
鉱工業指数の推移(関西: 2013年9月まで、平成17年=100)



(注) 福井県を含む。

(出所) 「近畿経済の動向」、近畿経済産業局

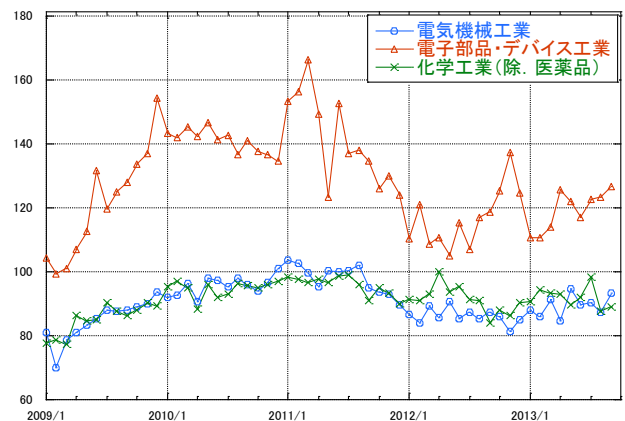
業種別生産指数の推移(関西: 2013年9月まで、平成17年=100)



(注) 福井県を含む。

(出所) 「近畿経済の動向」、近畿経済産業局

業種別生産指数の推移(続き)

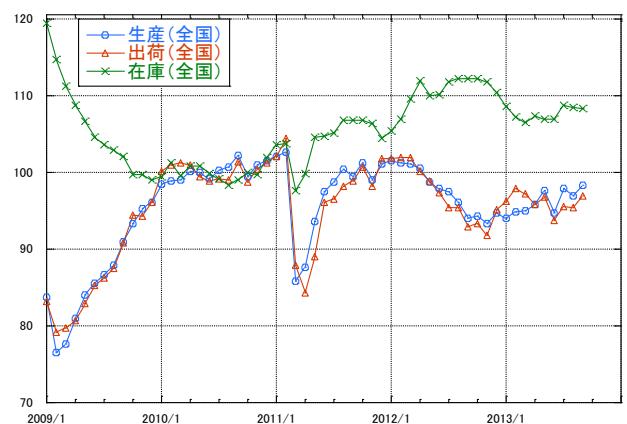


(2) 全国の生産動向

全国における9月の鉱工業生産指数(確報値、季節調整済)は98.3となり前月比+1.3%、出荷は96.9で同+1.5%といずれも2カ月ぶりの上昇。在庫は108.3で同-0.2%となり2月連続のマイナスとなった。関西とは対照的に、全国は増産となった。

業種別にみると、輸送機械(+3.1%)、電子部品・デバイス(+4.7%)、情報通信機械(+4.6%)等を中心に生産は上昇した。一方、はん用・生産用・業務用機械(-2.1%)、食料品・たばこ(-1.5%)、電気機械(-0.6%)等は下落した。

鉱工業指数の推移(全国: 2013年9月まで、平成22年=100)



(出所) 「鉱工業指数」、経済産業省

【貿易動向】

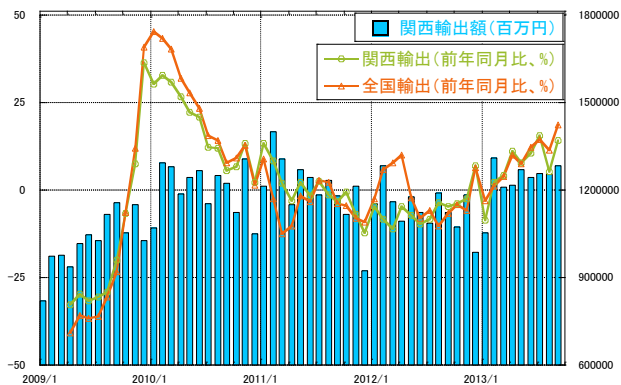
(1) 輸出

近畿圏における10月の輸出額(速報値)は1兆2,847億円、前年同月比+14.3%と8カ月連続の増加。輸出は、鉄鋼、原動機、半導体等電子部品、を中心に増加している。

地域別では、アジア(前年同月比+11.1%)、中国(同+13.4%)、米国(同+13.2%)、EU向け(同+24.4%)輸出はいずれも増加を続けている。

全国の10月の輸出額(速報値)は6兆1,045億円、前年同月比+18.6%と8カ月連続の増加。円安の持続を背景に、輸出は近畿、全国共に引き続き大きく改善してきている。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2013年10月まで)



(出所)「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課

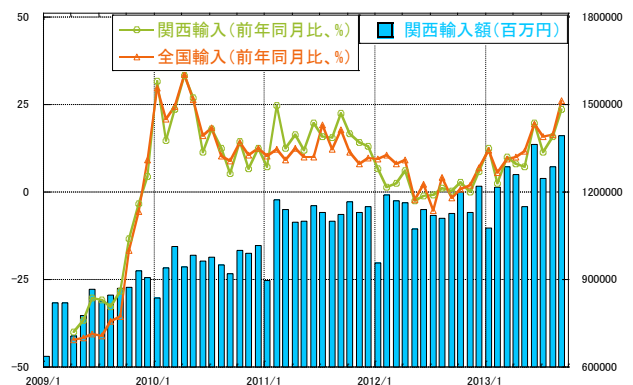
(2) 輸入

近畿圏における10月の輸入額(速報値)は1兆3,950億円、前年同月比+23.7%と10カ月連続の増加。輸入額は過去最高額を更新した。特に、原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス、衣類及び同付属品等が大幅に増加しており、いずれも10月における過去の最高輸入額を更新している。

地域別では、アジア(前年同月比+24.0%)、中国(同+22.7%)、米国(同+16.0%)、EU(同+6.6%)からの輸入が引き続き増加を続けている。

全国の10月の輸入額(速報値)は7兆1,952億円と2008年8月以来の7兆円台となり、前年同月比+26.1%と12カ月連続の増加となっている。

輸入(右、100万円)・前年同月比(左、%)推移(2013年10月まで)



(出所)「財務省貿易統計」、財務省

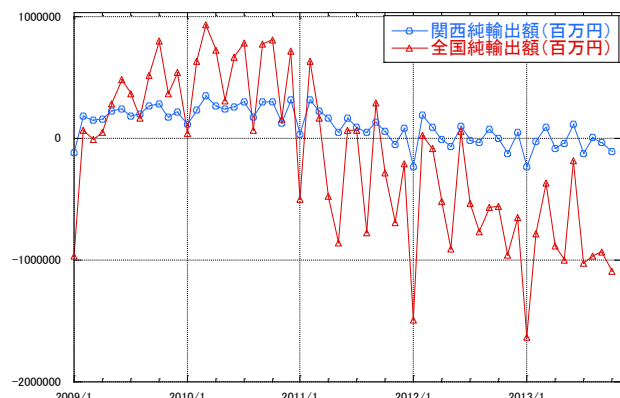
(3) 純輸出

近畿圏における10月の純輸出額(速報値)は-1,104億円と2カ月連続の赤字。赤字幅は2カ月連続で拡大している。円安を背景に輸出の増加が著しい一方で、輸入も大きく増加を続けており、関西の純輸出額はゼロ付近で推移してきている。

純輸出を地域別に見ると、対アジア貿易収支は9カ月連続の黒字も、2カ月連続で黒字幅は縮小している(前年同月比-61.6%)。うち対中貿易は20カ月連続の赤字であった。ただし、貿易収支は2カ月ぶりの改善(同+46.3%)。対米貿易は黒字基調が続いており、貿易収支は2カ月ぶりの改善(同+9.4%)。対EU貿易は7カ月連続の赤字も貿易収支は改善した(同-62.1%)。

全国の10月の純輸出額(速報値)は-1兆907億円と16カ月連続の赤字(前年同月比+96.1)。貿易収支は近畿、全国共に悪化している。

純輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2013年10月まで)



(出所) 「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課

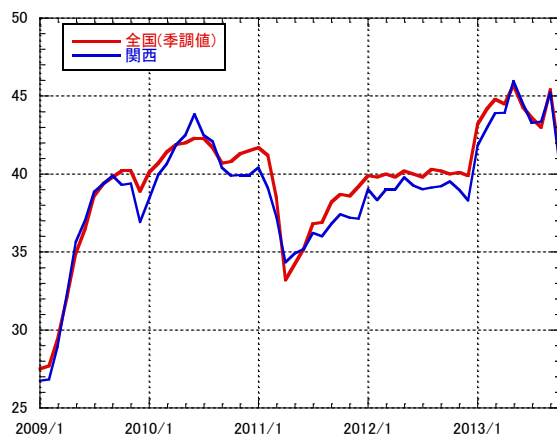
【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数

関西の10月の消費者態度指数(原数値)は前月比-4.6ポイント下落し40.6となった。3カ月ぶりのマイナス。単月の下落幅としてはリーマンショック期の同-2.7%(2008年12月)や、震災直後の同-2.9%(2011年4月)を上回った。同指数の構成項目をみると、10月は「暮らし向き」が同-4.3ポイント、「収入の増え方」が同-3.7ポイントといずれも2カ月ぶりに下落した。「雇用環境」は同-6.0ポイント大幅下落し、また「耐久消費財の買い判断」も同-4.6ポイントといずれも3カ月ぶりに下落した。4項目全てが悪化。

全国の10月の消費者態度指数(季節調整値)は41.2となり、同-4.2ポイントと2カ月ぶりに大幅悪化した。

消費者態度指数(2013年10月まで)



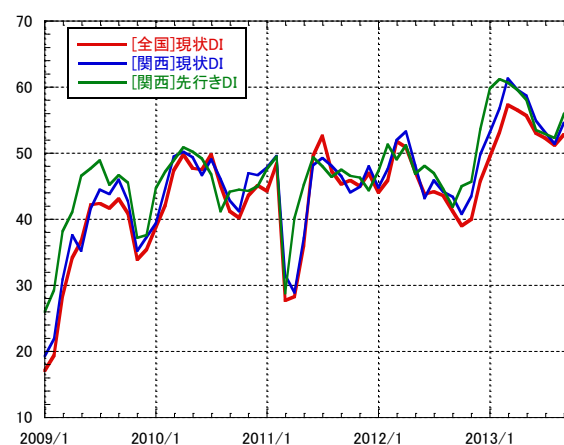
(出所) 内閣府「消費動向調査」(平成25年11月12日公表)

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の10月の現状判断DIは、台風などの天候要因が影響し、前月比-1.8ポイントの52.8と2カ月ぶりに下落した。全国の現状判断DIも同-1.0ポイントの51.8と2カ月ぶりに下落している。

関西の先行き判断DIは同+1.8ポイントの57.7、全国の先行き判断DIは同+0.3ポイントの54.5といずれも2カ月ぶりに上昇している。

景気ウォッチャー調査(2013年10月まで)



(出所) 内閣府(平成25年11月11日公表)

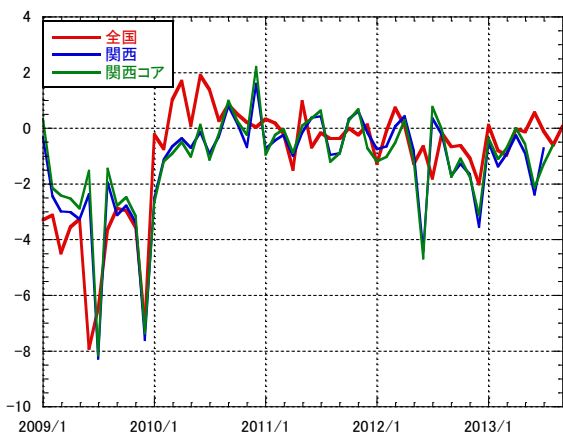
【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

関西の7月の現金給与総額(APIR推計)は362,557円となり、前年同月比-0.7%減少した。12カ月連続のマイナス。また速報性のある「関西コア」指数(京都・大阪・兵庫の現金給与総額の加重平均値)は、8月に同-0.6%と4カ月連続の下落となった。

一方、全国では8月に同-0.6%、9月(確報値)は同-0.2%と3カ月連続で下落。今後の関西についても大幅な改善は期待できない。

現金給与総額(前年同月比：%、2013年9月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR 推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。

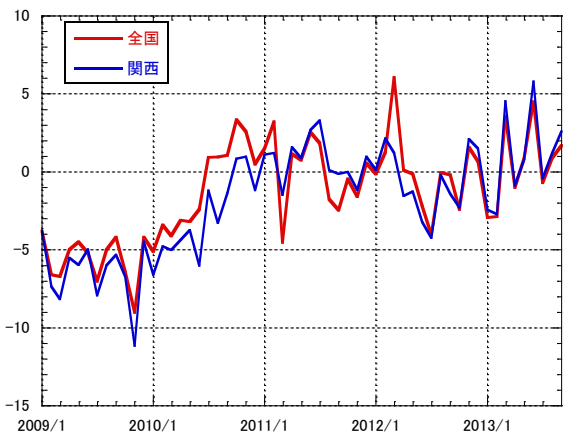
(出所)：厚生労働省「毎月勤労統計調査」(平成25年10月31日公表)を加工

(2) 大型小売店販売額

関西の9月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+2.6%と2カ月連続のプラス。百貨店も同+5.1%と2カ月連続のプラス。

なお全国でも、9月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+1.7%と2カ月連続のプラスとなっている。

大型小売店販売額 (前年同月比：%、2013年9月まで)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局(平成25年11月5日公表)

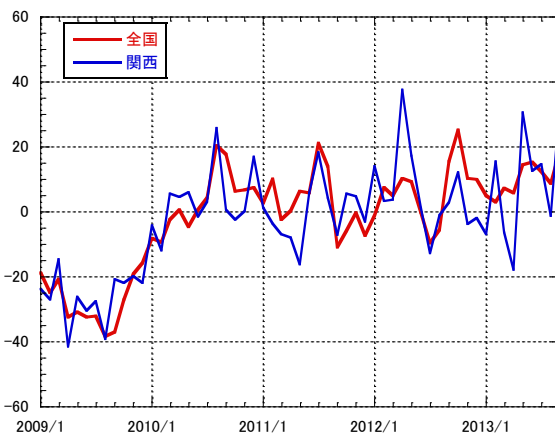
(3) 新設住宅着工の動向

9月の新設住宅着工戸数は13,606戸。前年同月比+35.2%と2カ月ぶりに大幅増加した。利用関係別にみると、持家は同+14.1%と8カ月連続の上昇、貸家が同+49.6%と3カ月連続、分譲が同+44.4%と2カ月ぶりの大幅上昇となった。全国の新設住宅着工戸数は同+19.4%と13カ月連続で上昇。

9月のマンション契約率(出所：不動産経済研究所「マンション市場動向」)は83.3%(季節調整値、APIR 推計)。好不調の目安とされる70%を19カ月連続で上回っている。

8月は幾分停滞したものの、9月は引き続き消費増税による駆け込み需要・相続税制改正に伴う節税対策から、住宅市場は好調を維持している。

新設住宅着工(前年同月比：%、2013年9月まで)



(出所)：国土交通省「住宅着工統計」(平成25年10月31日公表)

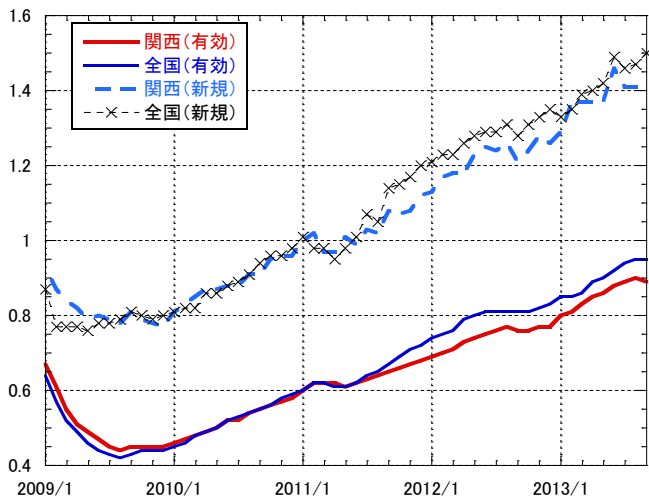
【雇用】

(1) 求人倍率の動向

9月の関西の有効求人倍率は0.89倍、前月から0.01ポイント低下したものの、依然底堅い。全国は0.95倍で、先月と横ばい。

9月の新規求人倍率は、関西は1.42倍と前月(1.41倍)よりやや上昇。全国は1.50倍と2カ月連続の改善。

有効求人倍率の推移 (季節調整値、2013年9月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況(平成25年10月29日発表)」

地域別有効求人倍率 2013年9月

	全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
9月	0.95	0.78	1.00	0.99	0.88	1.11	1.16	0.89	1.09	1.01	0.78
8月	0.95	0.78	1.01	0.98	0.89	1.11	1.15	0.90	1.07	1.01	0.77

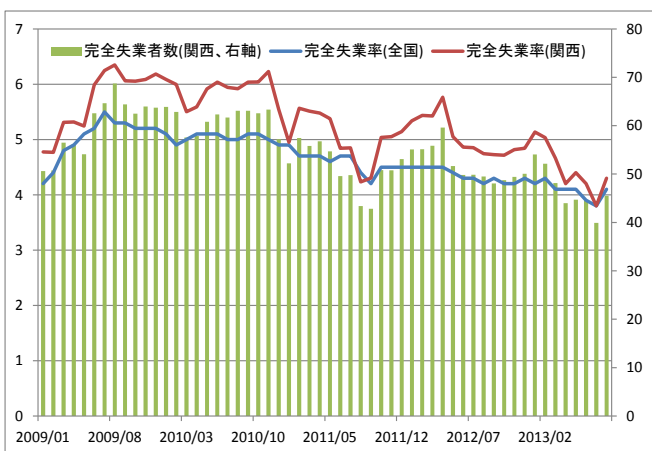
(2) 完全失業率の推移

9月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR推計)は4.1%となり、前月から0.2%ポイントと2カ月ぶりに低下。

全国の完全失業率(季節調整値)は4.0%となり、前月から0.1ポイント低下。

関西の完全失業者数(季節調整値:APIR推計)は42.0万人。前月から3.5万人の減少となった。

完全失業率の推移 (季節調整値、2013年9月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」(平成25年10月29日発表)

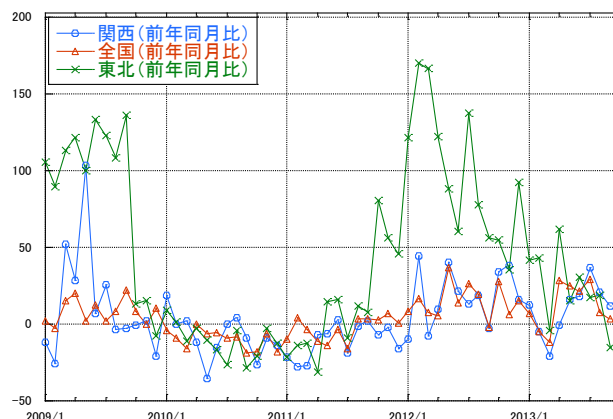
【公共投資】

(1) 公共工事前払保証額

関西10月の公共工事前払保証額は1,357億円。前年同月比+12.2%と6カ月連続のプラス。全国は1兆4,205億円と同+3.5%、7カ月連続のプラス。ただし、いずれも伸び率は前月(関西:同+51.4%、全国:同+29.4%)から大幅に減少した。さらに、東北は2,332億円と同-15.0%と、前月(同+39.6%)までのプラス基調から一転、7カ月ぶりのマイナス。今後の東北の復興政策の進捗が注視される。

季節調整値(APIR推計)で見ると、関西は2カ月ぶりのマイナス(関西:-7.9%)、全国は3カ月ぶりのプラス(全国:+2.2%)となった。関西の7-9月期は増加(+7.5%)であったが、10-12月期は前期より減少が予想される。

公共工事前払保証額(前年同月比:%、2013年10月まで)

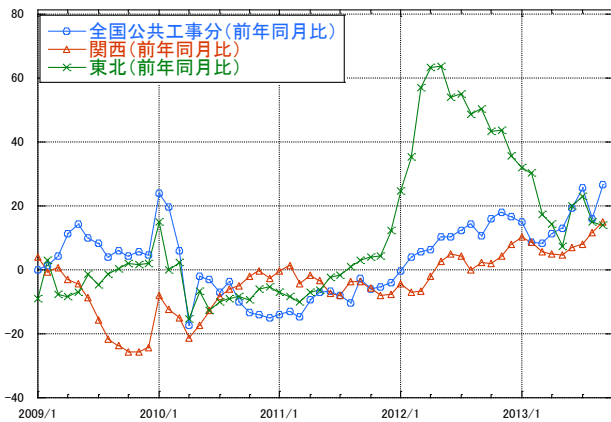


(出所) 「公共工事前払金保証統計」、東日本建設業保証株式会社

(2) 建設工事

関西における9月の建設工事は5,218億円。前年同月比+15.0%と17カ月連続のプラス。東北は5,139億円と同+14.2%となった。26カ月連続のプラス。なお同月の全国の建設工事(公共)は1兆8,118億円、同+26.7%と20カ月連続のプラス。全国も、建設工事(公共)の伸びは堅調に推移している。

建設工事(前年同月比：％、2013年9月まで)



(出所) 国土交通省「建設総合統計」

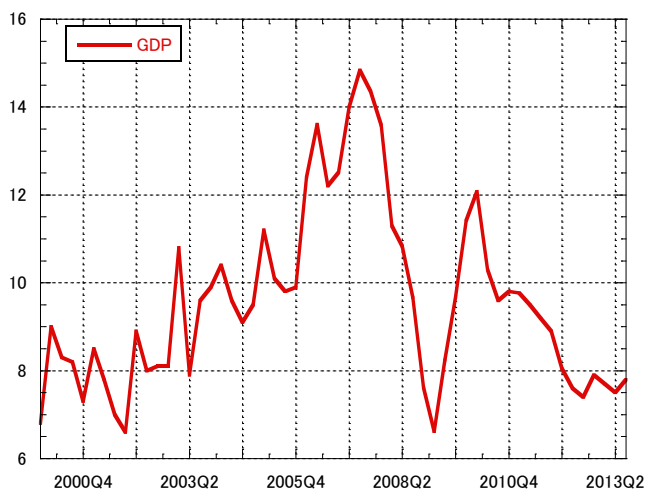
【中国景気モニター】

(1) GDP

2013年7-9月期の実質GDP成長率は前年同期比+7.8%となった。4-6月期の同+7.5%と比べて幾分回復しているが、8%を下回る成長率が7期続いている。7-9月期GDPのうち、第一次産業の成長率は同+3.4%、第二次産業は同+7.8%、第三次産業は同+8.4%となっている。

支出面から寄与率をみると、1-9月期の(累積)実質GDP成長率(7.7%)のうち、資本形成は55.8%(1-6月期は53.9%)となり、最終消費は45.9%(1-6月期は45.2%)、純輸出は-1.7%(1-6月期は0.9%)となっている。1-6月期と比べて、純輸出の寄与率は更に低下し、その分を資本形成で補った。

実質GDP成長率 (2013年第3四半期まで; 前年度同期比:%)



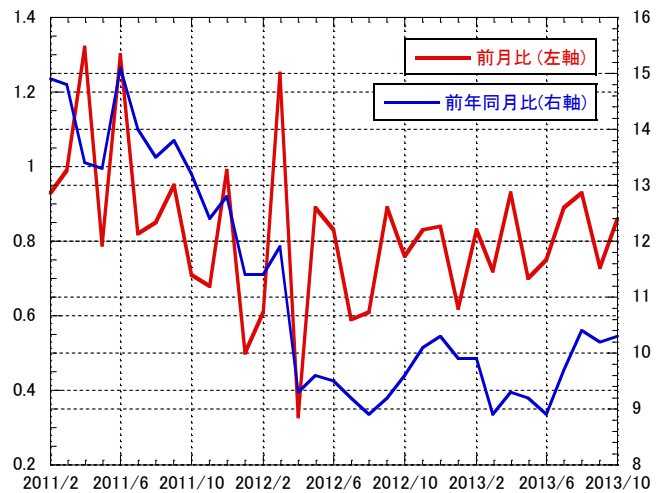
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(2) 工業生産

10月の工業生産は前月比+0.9%となり、9月同+0.7%、8月同+0.9%と伸び悩んでいる。前年同月比で見れば、10月は同+10.3%、9月同+10.2%、8月同+10.4%と10%を幾分上回る生産増となっているが、生産に加速はみられない。

産業別に見ると、10月は化学原料・製品製造業(前年同月比+12.5%)、自動車製造業(同+18.2%)、電気機械・機材製造業(同+11.8%)が高い伸びを示す一方、鉄道・船舶・航空航天・その他の運輸設備製造業(同+8.7%)と電力・熱力の生産・供給業(同+6.6%)の伸びは比較的低調であった。

工業生産指数(2013年10月まで：％)



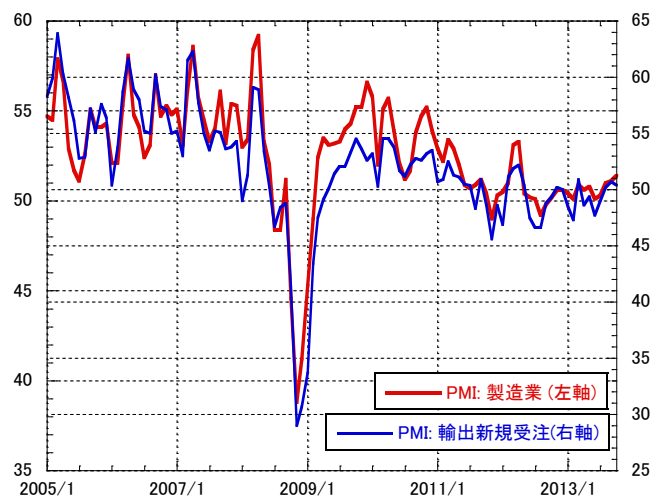
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(3) センチメント

製造業の購買担当者景況指数(PMI)は、10月に51.4となり前月(51.1)より幾分回復。うち、生産指数は54.4となり、4カ月連続で前月から上昇したが、新規受注指数は52.5、輸出新規受注指数は50.4となり、いずれも3カ月ぶりに低下した。一方9月の雇用指数は49.2となり、前月(49.1)とほぼ横ばい。

生産指数が上昇しているが、新規受注指数および輸出新規受注指数は低下しており、将来の需要の低迷を示唆している。先行きは不透明である。

中国製造業購買担当者景況指数 (2013年10月まで：%)



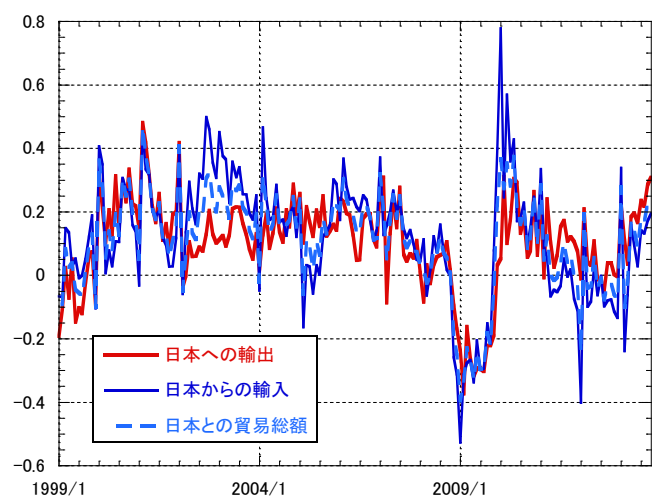
出所：中国国家统计局; CEIC データベース

(4) 貿易動向

中国の輸出額は9月に前年同月比+5.6%(速報値、ドル・ベース)と前月(-0.3%、確定値)よりプラスに転じた。輸入額は+7.6%(速報値)と前月(+7.4%、確定値)よりやや上昇。

うち日本への輸出額は同+5.6%(ドル・ベース)と前月(+1.3%)より上昇し、2カ月連続のプラス。一方、日本からの輸入額は同-3.6%と前月(-7.7%)より減少が続くが、マイナス幅は前月より縮小している。チャイナリスクの影響は幾分緩んできたようである。円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+30.9%と前月(+28.6%)より上昇し、日本からの輸入額も同+19.5%へと加速した(前月+17.2%)。

日本との貿易 (前年同月比; 円ベース) (2013年10月まで：%)



出所：中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(5) 労働市場動向

求人求職倍率について、7-9月期の有効求人倍率は1.08になり、4-6月期よりやや上昇した。求人数と求職者数を見ると、求人数は前年同期比-2.5%と減少し、求職者数は同-7.3%と減少した(88主要都市ベース)。

地域別に見ると、東部の求人倍率は1.06、中部1.08、西部1.13となっている¹。西部の労働需給は相対的に逼迫している。

職種別の求人倍率をみると、専門技術職(1.05)、商業とサービス業に従事する職(1.29)、農林牧漁水利の生産に従事する職(1.10)と、生産運輸設備を操作する職(1.13)が高い一方、管理職(0.83)と事務職(0.71)は低い。労働市場に職種別のミスマッチが存在することが示されている。

求人求職倍率 (2013年第3四半期まで)



出所：中国労働市場情報観測センター; CEIC データベース

Contact：岡野光洋・林万平・劉洋

Tel. 06-6485-7695, E-mail. contact@apir.or.jp

¹ 各地域の定義は次の通り。

東部：北京、天津、河北、遼寧、上海、江蘇、浙江、福建、山東、広東、海南

中部：山西、吉林、黒龍江、安徽、江西、河南、湖北、湖南

西部：内モンゴル、広西、重慶、四川、貴州、雲南、チベット、陝西、甘肅、青海、寧夏、新疆

【主要月次統計】

月次統計	12/09M	12/10M	12/11M	12/12M	13/01M	13/02M	13/03M	13/04M	13/05M	13/06M	13/07M	13/08M	13/09M	13/10M
景況														
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	43.4	40.8	43.5	49.8	53.2	56.8	61.3	59.6	58.7	54.9	53.2	51.4	54.6	52.8
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	43.3	39.2	41.5	47.6	53.2	56.3	62.6	59.6	58.8	55.0	52.0	48.8	53.0	50.4
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	41.9	45.0	45.7	53.6	59.8	61.2	60.7	59.6	58.1	53.5	52.9	52.3	55.9	57.7
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	41.2	39.0	40.0	45.8	49.5	53.2	57.3	56.5	55.7	53.0	52.3	51.2	52.8	51.8
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	40.2	38.4	39.2	45.5	48.3	51.7	56.9	55.5	54.4	52.2	50.6	49.3	50.6	49.2
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	43.5	41.7	41.9	51.0	56.5	57.7	57.5	57.8	56.2	53.6	53.6	51.2	54.2	54.5
消費者心理・小売り														
[関西]消費者態度指数(原数値)	39.2	39.5	39.0	38.3	41.8	43.0	43.9	43.9	46.0	44.5	43.3	43.4	45.2	40.6
[関西]「暮らし向き」(原数値)	40.1	40.3	39.9	38.7	41.9	42.4	42.0	40.8	43.5	42.8	41.5	40.8	42.4	38.1
[関西]「収入の増え方」(原数値)	39.0	40.0	39.5	37.9	39.0	40.2	40.7	40.2	42.7	41.3	40.4	40.3	41.2	37.6
[関西]「雇用環境」(原数値)	36.3	36.2	35.9	36.0	42.5	45.4	47.1	48.7	50.9	47.6	47.3	47.6	51.1	45.1
[関西]「耐久消費財の買い時判断」(原数値)	41.4	41.6	40.8	40.6	44.0	43.9	45.9	46.0	46.8	46.4	44.0	44.9	46.2	41.6
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	39.2	39.5	39.0	38.3	43.2	44.2	44.8	44.5	45.7	44.3	43.6	43.0	45.4	41.2
[関西]乗用車新規登録台数(前年同月比%)	-4.8	-7.0	-2.0	-3.9	-6.2	-8.7	-13.8	4.7	-6.3	-10.6	-10.0	UN	UN	UN
[関西]家電販売額(前年同月比%)	-4.8	-15.4	-8.4	-5.0	-12.3	-5.3	-3.2	-8.9	-0.5	12.6	-13.8	UN	UN	UN
[関西]大型小売店販売額(10億円)	281.9	302.1	326.2	411.9	329.6	277.3	316.7	297.4	303.7	317.2	333.5	303.7	289.4	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	-1.4	-2.3	2.1	1.5	-2.4	-2.7	4.5	-0.9	0.8	5.8	-0.4	1.2	2.6	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1470.0	1567.2	1663.0	2104.8	1687.2	1423.9	1659.8	1550.9	1588.9	1638.5	1712.7	1582.3	1506.0	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	-0.2	-2.4	1.6	0.7	-2.9	-2.9	3.5	-1.0	0.9	4.5	-0.7	0.9	1.7	UN
住宅・建設														
[関西]新設住宅着工(戸数)	10066.0	12429.0	10109.0	11075.0	10112.0	11063.0	10895.0	10626.0	12403.0	12215.0	12622.0	11537.0	13606.0	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	2.9	12.2	-3.7	-1.8	-6.9	15.5	-6.2	-17.8	30.6	12.6	14.7	-1.2	35.2	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	74176.0	84251.0	80145.0	75944.0	69289.0	68969.0	71456.0	77894.0	79751.0	83704.0	84801.0	84343.0	88539.0	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	15.5	25.2	10.3	10.0	5.0	3.0	7.3	5.8	14.5	15.3	12.4	8.8	19.4	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	75.1	78.6	73.6	80.9	84.6	80.4	82.8	78.3	78.2	75.9	84.6	79.0	UN	UN
[関西]マンション契約率(原数値)	72.6	80.4	70.5	81.1	74.9	77.1	83.6	79.8	82.3	80.7	87.0	81.1	UN	UN
[全国]マンション契約率(季節調整値)	70.5	74.9	71.7	78.0	73.7	79.4	77.6	76.1	76.8	77.5	80.8	84.7	UN	UN
[全国]マンション契約率(原数値)	69.3	72.7	71.9	79.5	69.2	76.4	82.1	78.2	78.1	81.6	81.6	81.5	UN	UN
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	122.9	129.7	126.8	89.2	74.6	90.7	130.5	178.2	143.2	150.6	146.6	119.1	167.5	168.5
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-4.9	30.2	26.8	14.9	12.0	-6.8	-14.1	4.2	16.0	17.8	37.2	20.8	51.4	12.2
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1177.5	1372.1	897.2	824.3	603.9	670.8	1233.8	1599.1	1084.2	1386.8	1572.5	1226.7	1523.5	1524.5
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-2.0	28.2	6.2	15.6	6.7	-4.8	-11.7	28.6	24.8	21.7	29.4	7.9	29.1	30.1
[関西]建設工事(総合、10億円)	488.7	495.0	514.6	545.4	558.7	560.1	547.4	448.6	426.1	443.6	453.3	483.0	521.8	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	3.4	3.3	5.4	7.8	9.5	8.4	5.0	5.0	4.8	7.2	8.2	11.7	15.0	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	3717.9	3851.5	4054.1	4208.4	4088.9	4108.1	4106.2	3293.9	3312.3	3536.3	3721.3	3981.3	4319.8	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	3.7	4.9	8.0	8.6	8.3	6.0	6.3	7.9	10.3	14.2	16.5	16.1	16.2	UN
[関西]建設工事(公共工事、10億円)	1429.4	1590.8	1748.6	1868.7	1824.5	1851.5	1867.1	1256.4	1189.8	1289.5	1397.5	1567.3	1811.8	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	10.6	16.0	17.9	16.6	15.2	8.6	8.3	11.3	12.9	19.3	25.8	24.3	26.7	UN
生産														
[関西]鉱工業生産(季節調整値、05年=100)	89.1	89.4	88.3	89.4	91.8	89.7	91.1	91.9	92.4	90.8	91.3	91.9	89.1	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-2.4	0.3	-1.2	1.2	2.7	-2.3	1.6	1.0	0.5	-1.7	0.8	0.7	-3.0	UN
[関西]「出荷指数」(原数値、前年同月比%)	-9.4	-9.4	-9.4	-9.4	-9.4	-9.4	-9.4	-9.4	-9.4	-2.9	4.6	-0.6	-0.1	UN
[関西]「在庫指数」(原数値、前年同月比%)	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	-4.3	0.3	-0.9	-0.9	UN
[関西]「出荷指数」(季節調整値、05年=100)	89.7	89.1	89.2	90.3	91.5	90.7	91.1	92.3	92.1	90.8	91.3	91.3	89.5	UN
[関西]「出荷指数」(季節調整値、前月比)	-1.2	-0.7	0.1	1.2	1.3	-0.9	0.4	1.4	-0.2	-1.4	0.6	0.0	-2.0	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、05年=100)	105.8	104.5	101.6	100.9	101.1	99.4	101.1	101.9	101.0	100.9	104.3	104.6	104.9	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	1.4	-1.2	-2.8	-0.7	0.2	-1.7	1.7	1.3	-0.9	-0.1	3.4	0.3	0.3	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	94.0	94.3	93.4	94.7	94.1	94.9	95.0	95.9	97.7	94.7	97.9	97.0	98.3	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-2.2	0.3	-1.0	1.4	-0.6	0.9	0.1	0.9	1.9	-3.1	3.4	-0.9	1.3	UN
[全国]「出荷指数」(原数値、前年同月比%)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	-5.1	1.4	-1.3	4.6	UN
[全国]「在庫指数」(原数値、前年同月比%)	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	-2.9	-2.8	-3.3	-3.5	UN
[全国]「出荷指数」(季節調整値、10年=100)	93.0	93.3	91.8	95.2	96.3	98.0	97.2	95.8	96.8	93.7	95.6	95.5	96.9	UN
[全国]「出荷指数」(季節調整値、前月比)	-2.5	0.3	-1.6	3.7	1.2	1.9	-0.8	-1.4	1.0	-3.2	2.0	-0.1	1.5	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、10年=100)	112.2	112.2	111.8	110.4	108.6	107.3	106.6	107.4	107.0	107.0	108.7	108.5	108.3	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	0.0	0.0	-0.4	-1.3	-1.6	-1.2	-0.7	0.8	-0.4	0.0	1.6	-0.2	-0.2	UN
労働														
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	-1.7	-1.3	-1.7	-3.5	-0.5	-1.4	-0.9	-0.3	-0.9	-2.4	-0.7	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	-1.7	-1.1	-1.7	-3.1	-0.4	-1.1	-0.7	0.0	-0.6	-2.1	-1.3	-0.6	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	-0.7	-0.6	-1.1	-2.0	0.1	-0.8	-1.0	0.0	-0.1	0.6	-0.1	-0.6	0.1	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	4.7	4.7	4.8	4.8	5.1	5.0	4.7	4.2	4.4	4.2	3.8	4.3	4.1	UN
[関西]完全失業率(原数値)	4.7	4.8	4.8	4.5	5.1	5.0	4.9	4.3	4.4	4.1	3.8	4.4	4.1	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3	4.1	4.1	4.1	3.9	3.8	4.1	4.0	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.21	1.24	1.28	1.26	1.29	1.37	1.37	1.37	1.37	1.46	1.41	1.41	1.42	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.28	1.31	1.33	1.35	1.33	1.35	1.39	1.40	1.42	1.49	1.46	1.47	1.50	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	0.76	0.76	0.77	0.77	0.80	0.81	0.83	0.85	0.86	0.88	0.89	0.90	0.89	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	0.81	0.81	0.82	0.83	0.85	0.85	0.86	0.89	0.90	0.92	0.94	0.95	0.95	UN
国際貿易														
[関西]純輸出(10億円)	79.4	-1.5	-126.9	54.3	-233.5	-24.4	93.8	-78.6	-42.6	118.2	-121.4	8.5	-32.6	-110.4
[関西]輸出(10億円)	1190.9	1124.7	1074.3	1183.8	986.1	1054.0	1310.9	1209.0	1216.9	1270.0	1243.0	1257.0	1254.4	1284.7
[関西]輸出(前年同月比%)	-3.5	-4.8	-3.9	-2.5	6.9	-8.7	2.2	4.1	11.1	7.9	10.6	15.7	5.3	14.3
[関西]輸入(10億円)	1111.5	1126.2	1201.1	1129.5	1219.5	1078.4	1217.2	1287.0	1259.6	1152.0	1364.4	1248.2	1287.0	1395.0
[関西]輸入(前年同月比%)	1.1	0.1	2.8	-0.1	6.3	12.6	2.3	10.0	8.2	7.2	19.8	11.4	15.8	23.7

注1：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く。

Release Calendar for APIR Monthly

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
28-Oct	29-Oct 完全失業率(9月) 求人倍率(9月)	30-Oct 全国鉱工業生産動向 (9月速報)	31-Oct 新設住宅着工(9月) 毎月勤労統計 (9月:速報値)	1-Nov 中国製造業購買担当者 指数(10月)
4-Nov	5-Nov 大型小売店販売状況 (近畿地域)(9月)	6-Nov	7-Nov	8-Nov 9-Nov 中国工業生産(10月) 中国固定資本投資 (1-10月) 中国消費小売総額(10 月) 中国輸出入 (10月:速報値)
11-Nov 近畿鉱工業生産指数 (9月速報) 景気ウォッチャー調査 (10月)	12-Nov 消費動向調査(10月)	13-Nov	14-Nov 全国鉱工業生産指数 (9月確報)	15-Nov 公共工事前払保証額 (10月) 建設総合統計(9月)
18-Nov マンション契約率 (10月) 毎月勤労統計 (9月:確報値)	19-Nov	20-Nov 近畿貿易統計 (10月速報) 全国貿易統計 (10月速報)	21-Nov 中国輸出入 (10月:確報値(予定))	22-Nov
25-Nov	26-Nov 近畿鉱工業生産指数 (9月確報)	27-Nov	28-Nov 近畿貿易統計 (10月確報) 全国貿易統計 (10月確報)	29-Nov 全国鉱工業生産指数 (10月速報) 新設住宅着工(10月) 完全失業率(9月) 求人倍率(9月)